





Handwritten Japanese text in the upper portion of the illustration, possibly identifying the character or scene.

Handwritten Japanese text on the left side of the illustration.

Handwritten Japanese text on the right side of the illustration.

Red seal with vertical Japanese text, likely a collector's or publisher's mark.



晴文庫



十八編

とらぎ

足利結手深紫第十八編序

足利結手深紫第十八編序

おおよそ書作の老の用を小根骨奪胎といふとあり。さきも故人の佳作と種々。男と女と女と男と。或は左と右とあり。右をたとふは人の趣向七分ある。その劣まるといふべからず。然るも足利結手深紫の佳作の妙案と。そのまゝ小捨てやまると文の幼童に解易うめを伴ふ。むさしむさしなるまゝの作といふは鳥渡りまゝと。まごころのなま見えぬ。出霊得脱怪談邪惡切り撃つりのことと。さへ雑へて今様め子の更し作者の妙案に出たり。かの舊句を焼くべし。妙案とする俳諧者流と。その趣向を一つおさるもの。はの流行おさるものといふん

安政三丙辰歳子孟春 庚 松亭金水誌

壹

貳

足利十八編

五十八翁
 方有後
 靜思堪喜
 亦堪嗟
 持盃祝願
 無他語
 慎勿頑愚
 似汝爺

三會姫
 新女僧

六條御所

氏充公

い
 松
 へん

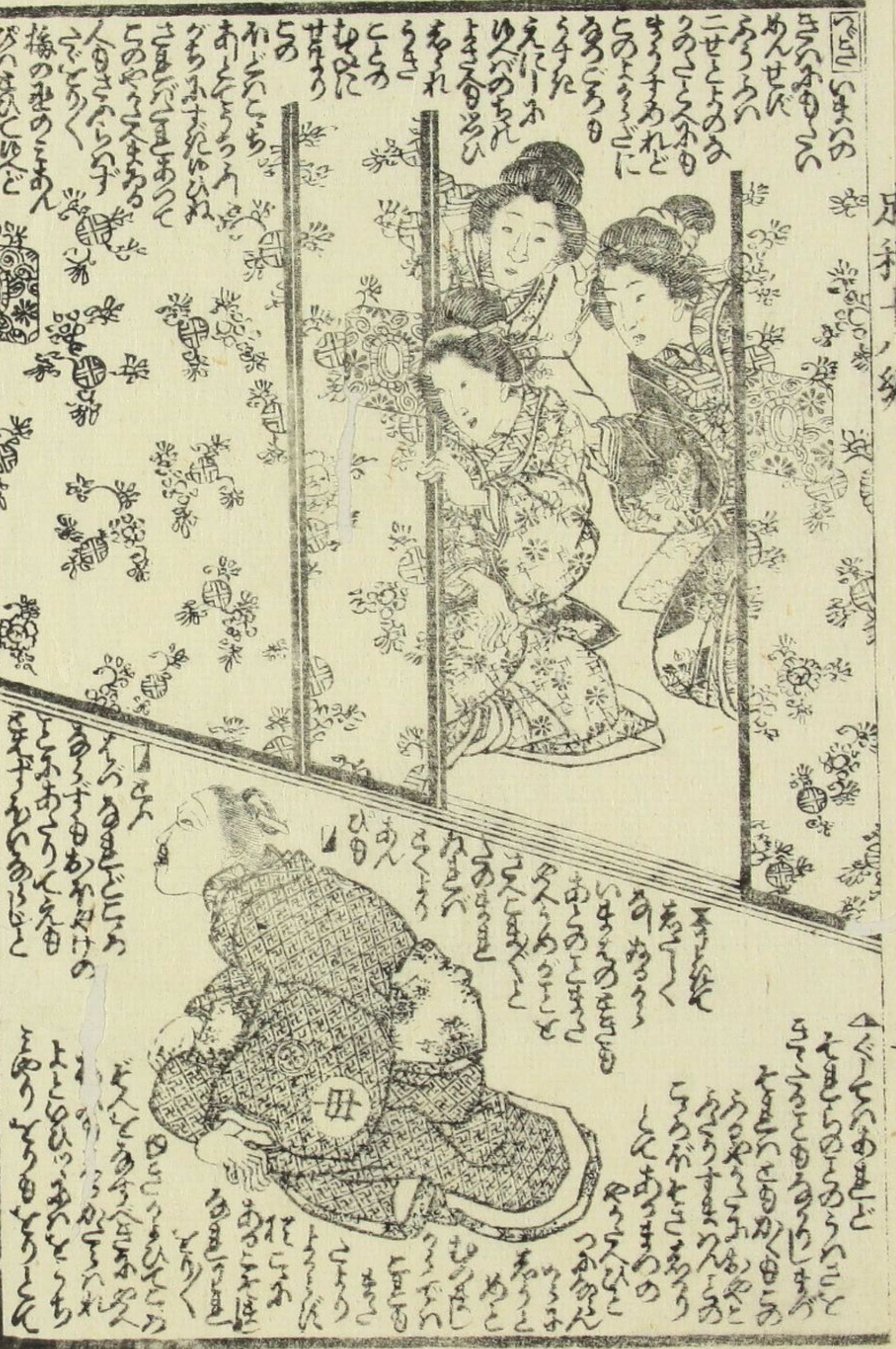
白容之助



三會
 乳母
 中里



曲と因





せせこまにちりちりかかぬやえ
 まりりしきつた今ひひ
 ひととあふあふひひと
 つげびんぎとええ
 じまじまのあひひ
 とこのひひとあひひ
 しんが梅の
 梅の



ちりちりちりちり
 あふあふあふあふ
 うたあひひとあひひ
 けんあひひと
 のまひひとあひひ
 まあああああああ
 いまああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ

ああああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ
 ああああああああ



ひととあふあふひひと
 つげびんぎとええ
 じまじまのあひひ
 とこのひひとあひひ
 しんが梅の
 梅の

尾形十郎

かきつりまらぬらに
のまうへんどの
まをりかくろひは
あつとみららふか
むいさうのついで
あつとみららふか
ありてさひめい
そのさうい
まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん
りひとこ
まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん

あつとみららふか
むいさうのついで
あつとみららふか
ありてさひめい
そのさうい
まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん



まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん

やそあといへも
まうへん
あつとみららふか
むいさうのついで
あつとみららふか
ありてさひめい
そのさうい
まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん

あつとみららふか
むいさうのついで
あつとみららふか
ありてさひめい
そのさうい
まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん



あつとみららふか
むいさうのついで
あつとみららふか
ありてさひめい
そのさうい
まうへん
さのて梅の葉
うらまうこひ
いとみとつて
さういさう
まうへん

丁巳春錦橋堂新板

寐復の太奇藥
 一服代
 小使男女老幼一色と修る良方

精製 **白妙** 一色代
 北二銅
 清浄 ほうたけのついでをよむ
 方よてもめつあつらの中へ

固齧散 大包代百銅
 御藥 功一ぬきを 一うたえ 一うたえ
 能一血のなる 一たをなす
 能。用ひ奉るのついでをよむ

庄 地本 江原中橋廣小路
 錦繪 **山田屋庄次郎**

菖蒲文美箱 中形山 東 菴
 全冊京山 作

雛鷹世湯壽 紅摺 山東菴京山 作
 大木 冊一陽齋豊國画

英雄五分 五編万亭 應賀作
 揃一陽齋豊國画

葛葉丸重錦 五編万亭 應賀作
 揃一陽齋豊國画

浮寐鳥朧漣 五編空中樓閣花咲作
 揃一陽齋豊國画

國貞画金水作

あけぬけの梅の影と
 りんかくの
 あけぬけの梅の影と
 りんかくの
 あけぬけの梅の影と
 りんかくの

あけぬけの梅の影と
 りんかくの
 あけぬけの梅の影と
 りんかくの
 あけぬけの梅の影と
 りんかくの



あけぬけの梅の影と
 りんかくの
 あけぬけの梅の影と
 りんかくの
 あけぬけの梅の影と
 りんかくの

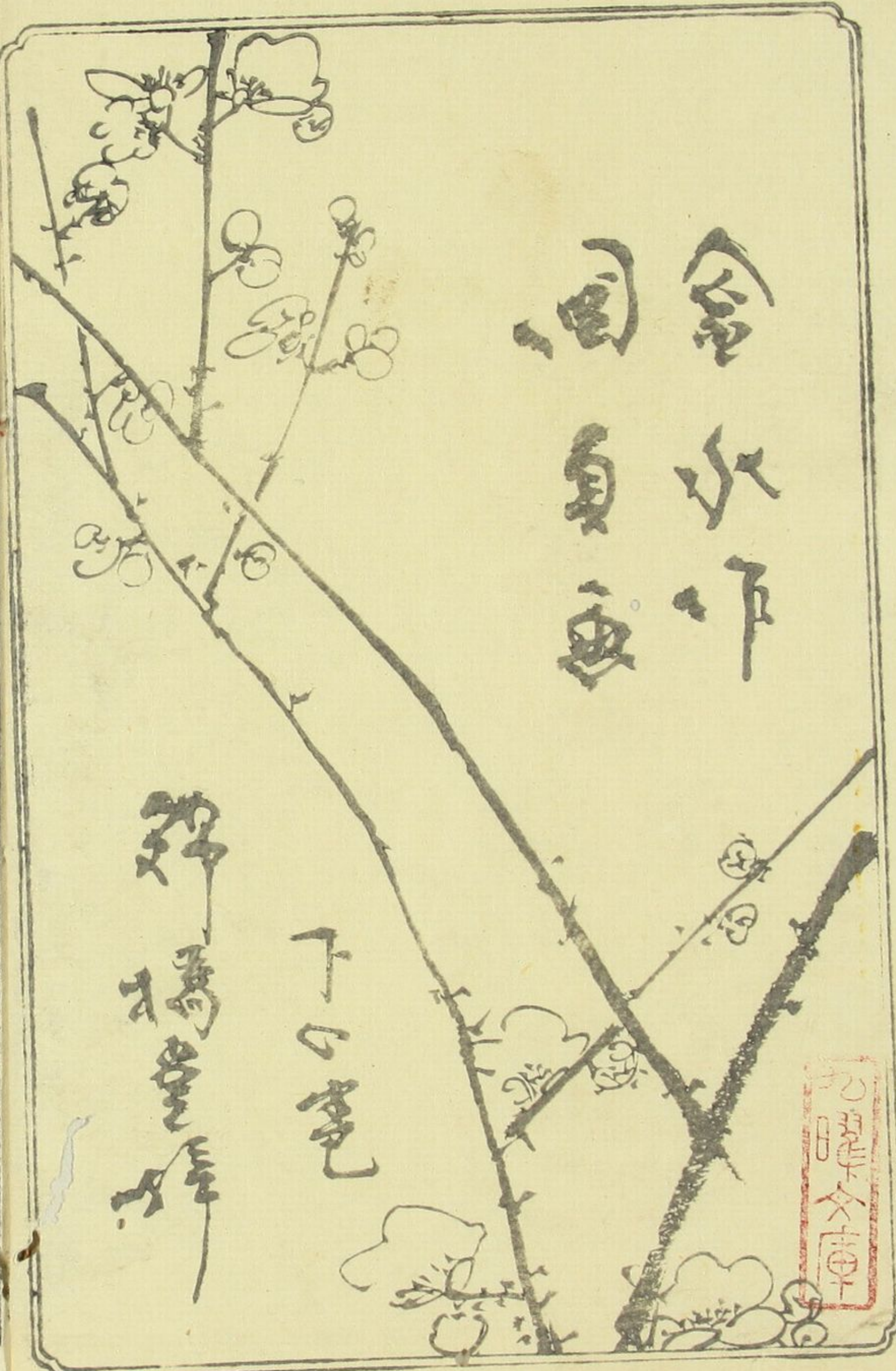




秋
夜
月
夜
月
夜

秋
夜
月
夜





會次作
國貞画

曙文庫

あつちの神の
ふかかき
そりかきよ
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう

あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう



あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう

あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう

あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう

あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう



あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう

あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう
あふのう

